

「徳之島高校総合学科の地域理解のための文化財見学」

1 学校名

鹿児島県立徳之島高等学校

2 学年・人数

総合学科1年生 23人

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

見学の実施：平成28年5月24日（火）科目『産業社会と人間』

見学場所：伊仙町立歴史民俗資料館

展示資料作成：平成29年1月 科目『産業社会と人間』，放課後

(2) 展示の日時・場所

平成29年1月27日（金）

徳之島町文化会館 「平成28年度総合学科学習発表会」

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

伊仙町立歴史民俗資料館（いせんちょうりつれきしみんぞくしりょうかん）

（徳之島カムイヤキ陶器窯跡）

(2) 特徴

徳之島の歴史，伝統文化，自然について学んだ。史跡徳之島カムイヤキ陶器窯跡出土品を主に，伊仙町内の遺跡出土品，徳之島島内で使用されていた民具，自然史に関する標本等の展示物を見学した。その他，徳之島の歴史・文化・自然に関する書籍を閲覧した。

5 保存会や地域との連携の具体

学校設定科目『産業社会と人間』の時間に伊仙町立歴史民俗資料館の見学を行った。伊仙町教育委員会職員の説明を聴いた後，生徒は徳之島の歴史と風俗，文化遺産及び自然遺産について資料を調べた。

6 活用の取組の工夫した点

ポスターを制作する際にはイラストや文化財の写真を活用した。また，来場者が見やすいよう色使いや文字の大きさを工夫した。

7 取組の様子（研究発表，創作劇等）



「歴史民俗資料館見学」



「総合学科学習発表会での展示」

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【生徒】

- ・ 人骨が展示されているのを見るのは初めてで驚いたが，体型が現代人と少し違っていたり，性別等も分かるという説明を聞いてすごいと思った。
- ・ カムイヤキ窯遺跡で焼かれた壺の，何万もの破片を一つ一つ組み合わせて復元する作業は地道で根気のいる作業であり，職員の方の歴史調査に対する思いを感じとることができた。

【教員】

生徒たちは，かつて使われていた農具を見ながら，徳之島においても稲作文化があったことに興味・関心を示していた。また，普段あまり目にすることのない民俗資料について説明を受け，先人達の生活様式に思いをはせていたようであった。